

聖書	民数記 21 : 4 - 9
タイトル	青銅のへび
教案日付	2014年 7月27日

項目	イラスト	お話し
I	a 	民は苦しく厳しい荒野を毎日毎日歩きました。民はついにイライラしてモーセに文句を言いました。「エジプトだったらおいしい食べ物もあったのに、こんなマナばかり飽きた」
	b 	文句を言う民に対して、神様はすぐに毒へびを送られました。
	c 	そして毒へびにかまれた人は死んでしまいました。
II	a 	民は仲間が毒へびにかまれて、苦しんで死ぬのを見て、大変なことになったと思いました。
	b 	そしてモーセの所に来て、「私たちは神様とあなたに文句を言って、罪を犯しました。どうか赦してください。そしてへびを取り去ってください」とお願いしました。

項目	イラスト	お話し
Ⅱ c		<p>モーセは民の話を聞いて、神様に祈りました。</p>
Ⅲ a		<p>すると神様が答えられました。「燃えるへびを作って、それをさおの上につけなさい。」</p>
Ⅲ b		<p>モーセは早速青銅のへびを作って、それをさおにつけ高くかかげました。</p>
Ⅲ c		<p>へびにかまれて苦しんでいる人はそのへびを見上げると癒されました。</p>
結論 (適用)		<p>へびに癒しの力があるのではなく、神様の言葉に力があります。神様の約束の言葉を信じましょう。また毎日与えられている食べ物を感謝しましょう。</p>

使用方法

- 教案ガイドのイラストをプリントアウトして、裏面にお話しを記載する
- 聖書を熟読し、教案ガイドの教師ノートを参照すること